

# 和歌山縣報

第六百六十三號

大正八年七月十一日  
金曜日

## ○縣令

### ○和歌山縣令第三三號

大正四年六月縣令第卅號小學校令施行細則ニ依リ旅費ノ支給ヲ受タルモノニ對シテハ當分ノ内旅費定額ノ五割ヲ増給ス  
本令ハ大正八年六月一日以降ノ旅行ニ之ヲ適用ス

大正八年七月十一日

和歌山縣知事 池松時和

## ○訓令

### ○和歌山縣訓令第二三號

内務部  
穀物検査所

大正七年八月和歌山縣訓令第三二號穀物検査員手當支給規定第一條ヲ左ノ通改正ス

大正八年七月十一日

和歌山縣知事 池松時和

第一條 穀物検査員ニハ年手當又ハ月手當ヲ支給ス

## ○ 告 示

### ○和歌山縣告示第二一五號

第三回和歌山縣物産共進會規則左ノ通相定ム

大正八年七月十一日

和歌山縣知事 池松時和

### 第三回和歌山縣物産共進會規則

#### 第一章 總 則

第一條 本會ハ第三回和歌山縣物産共進會ト稱シ大正九年四月十日ヨリ五月九日迄左記ノ場所ニ於テ開催ス

第一會場 和歌山市和歌山公園内 和歌山縣産業博物館

第二會場 全市一番丁 和歌山縣會議事堂

第二條 本會ノ出品物ハ和歌山縣内ニ於テ生産シタルモノニ限ル

第三條 本會ハ參考品トシテ縣内及縣外ノ生産物ヲ陳列ス

第四條 出品物陳列ノ位置及面積ハ本會ニ於テ之ヲ定ム

第五條 左ニ掲グルモノハ本會ノ費用ヲ以テ之ヲ設備ス

一、陳列用ノ建設物、陳列棚、陳列臺、陳列容器

二、出品物ノ附札

三、出品動物ノ飼養器具

四、出品物ノ陳列及裝飾

五、其ノ他必要ト認ムルモノ

第六條 左ニ掲グル事項ニ要スル費用ハ出品人ノ負担トス

一、出品物ノ荷造及郡市役所迄ノ運賃

二、特殊ノ陳列館、陳列工事、陳列棚、陳列臺、陳列容器

三、特殊ノ陳列及裝飾

四、機械据付工事

五、其ノ他出品ニ要スル費用

第七條 本會ハ出品物ニ對シ相當ノ保護ヲ爲スヘシト雖水火盜難其ノ他不可抗力ニ依リ生シタル損害ニ對シテハ一切其ノ責ニ任セス

第八條 陳列場内ニ於テ本會ノ許可ヲ受ケタル場合ノ外一切火ヲ用フルコトヲ得ス但シ電燈ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 本則其ノ他本會ニ關スル諸規則及命令又ハ處分ニ違背シタル者ニ對シテハ本會ハ適宜ノ處分ヲ爲シ且之カ爲ニ要シタル費用ヲ徴收スルコトアルヘシ

第十條 本則其他本會ニ關スル賭規則及命令又ハ處分ニ對シテハ異議ノ申立ヲ爲シ若ハ損害賠償ノ請求ヲ爲スコトヲ得ス

第十一條 本則ニ定ムルモノ外ハ本會ノ指示ニ從フヘシ

### 第二章 出 品

第十二條 出品物ノ種類及一点ノ數量ヲ定ムルコト左ノ如シ

#### 第一部 農 業

第一類 穀類 玄米、小麥、裸麥、大豆、小豆、蠶豆

第二類 根塊類 甘藷、馬鈴薯、蒟蒻球、青芋

第三類 果實類 温州蜜柑、八ッ代蜜柑、ネーブル柑、金柑、三寶柑、夏橙

第四類 種苗類 柑橘苗木、紫雲英種子

第五類 肥料 油粕類、配合肥料

第六類 農業用器具機械

第七類 農業、園藝、農會、產業組合、耕地整理組合ノ經營及生産ニ關スル方法成績

#### 第二部 畜 産

第八類 家畜 種牛、乳牛、肉牛

第九類 畜産組合、畜産業及養蜂業ノ經營並ニ生産ニ關スル方法成績

#### 第三部 蠶絲業

一升

拾個

壹箱

拾個

五本、二合

一個、一呎

一組、一個、一臺

適宜

一頭

適宜

第十類 蠶 種

第十一類 繭

第十二類 生糸、玉糸、

第十三類 桑苗木

第十四類 繭絲用器具機械

第十五類 蠶絲業組合及蠶絲業ノ經營並ニ生産ニ關スル方法成績

第四部 林 業

第十六類 木竹材 挽割材、板類、竹材

第十七類 加工木竹材 樽丸一丸、下駄材三足分、箱材一個分、漆器漆地材一組、箸三把

第十八類 林產製品 醋酸石灰一封度、木炭二俵、樹油二壺、松煙一斤

第十九類 森林副產物 五倍子、櫨實、椎茸一斤、杉皮、扁柏皮一束、棕栂皮、棕栂晒葉一把、肉桂五百匁、山葵十本

第二十類 種 苗 種子二合、苗木十本

第二十一類 林業及林產製造業用器具機械 適宜

第二十二類 森林組合其他林業ノ經營並生産ニ關スル方法成績 適宜

第五部 水 產 業

第二十三類 水產製品

煮干鰯二斤、鹽乾魚二十尾、鹽藏魚十尾、鯉節一尾分、鰻二把、鱈一尾分、干蝦二斤、乾海苔二帖、青海苔一斤、石花菜二斤

第二十四類 裝飾及工業用水產物 真珠五個、海羅二斤、魚油二壺、

第二十五類

漁具其他水產業ニ關スル器具、機械

網具、釣具、網地、水產物製造用具、

一個、一組、一反、一把、一卷

第二十六類

漁業組合及水產業ニ關スル施設方法並成績

適宜

第六部 飲食食品

第二十七類

綠 茶

一斤

第二十八類

酒、味淋、燒酎、醬油、酢

二壇(四合入)

第二十九類

味 噌

五百匁

第三十類

菓子、飴、蜂蜜

一壇(一箱二斤入)

第三十一類

罐詰、塩詰、漬物、凍豆腐、蒲鉾、割菜

適宜

第三十二類

飲食品製造用器具機械

一個一組

第三十三類

飲食品製造ノ經營及生産ニ關スル方法成績

適宜

第七部 染織業

第三十四類

絹織物、綿織物

一反、一匹、一本

第三十五類

絹綿交織物

一反、一匹、一本

第三十六類

毛織物、毛交織物

一反、一匹、一本

第三十七類

再織、タオル、肩掛

一反、一匹、一打

第三十八類

幅廣織物(鯨尺一尺三寸以上ノモノ)

一反、一匹、一本

第三十九類

染物(織布ニ限ル)捺染物

一反、一匹、一本

第四十類

織物原料(紡績糸等)

一括

第四十一類 敷物類、刺繡

第四十二類 絲組物、結紐

第四十三類 蒲團、蚊帳、窓掛、卓被、莫大小

第四十四類 染織業用器具機械及其設計圖

第四十五類 染織業ノ經營及生産ニ關スル方法成績

第八部 諸工業

第四十六類 漆器、漆器櫨地

第四十七類 煉瓦、瓦、一組又ハ四枚、石灰、セメント五貫匁

第四十八類 石、貝、牙、骨、鯨鬚ノ加工製品

第四十九類 玩具及木象嵌、樂器、遊戲具、運動具

第五十類 打及物、鑄物、金具

第五十一類 荷車、乳母車

第五十二類 建具、家具、指物、曲物、挽物、簾、燐寸

第五十三類 帽子、下駄、雪駄、靴、麻裏、足袋、靴下、手袋、下駄表

第五十四類 藁細工、竹細工、棕梠細工、扁柏細工

第五十五類 皮革、擬革及其製品

第五十六類 和紙五帖、洋紙五枚、又ハ一卷、狀袋一箱、色紙、防水紙五枚、水引、元結、紙絲、五把、筆一對、鉛筆一打

一枚

一組、一揃、一束

一組、一張、一枚

一個、一組、一臺

適宜

一個、一對、一組

一個、一對、一組

一個、一對、一組

一個、一對、一組

一個、一對、一臺

一個、一對

一個、一足、一組

一個、一對、一組

一枚、一對、一組

適宜

第五十七類 扇子、團扇、五本、襖、屏風一枚、手双又ハ一双、傘一本、提灯一張

第五十八類 變油、醫療藥品、工業用藥品一罐、一罐石鹼半打、蠟及蠟燭二斤、

化粧品二個又ハ二罐、其他化學製品五袋、一磅、一箱

第五十九類 化學染料一磅、除虫菊乾花及其ノ製品百匁二磅、線香一箱又ハ五把

第六十類 度量衡器 一個、一組

第六十一類 諸工業用器具機械及其設計圖 一個、一組

第六十二類 諸工業ノ經營及生産ニ關スル方法成績 適宜

第六十三類 印刷物一般圖案、一部 横二尺縦二尺五寸以內

第九部 機械及特許品

第六十四類 原動機傳動機其他 一個、一臺

第六十五類 實用新案及意匠登錄品 一個、一臺、一組

第六十六類 特許品 一個、一臺、一組

第十部 參考品

第六十七類 參考品 適宜

第十三條 出品物ハ參考品及苗木ヲ除クノ外大正八年一月一日以後出品人自ラ採取、產出、加工、

製作又ハ製造シタルモノニ限ル

但シ種牛及乳牛ニ在リテハ引續キ一年以上又肉牛ニ在リテハ三月以上出品人ニ於テ所有又ハ管理

シ且現ニ所有又ハ管理スルモノニ限ル

同一品種ノ出品ハ一戸一点トス

第十四條 實業ニ關係アル學校、試驗場、講習所、農會、產業組合、同業組合其ノ他ノ團體ハ前條ニ準シ出品スルコトヲ得

第十五條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ出品スルコトヲ得ス

一、販賣品ニアラサルモノ但シ參考品及前條ノ出品ハ此ノ限ニ在ラス

二、大正三年五月以前又ハ大正七年十一月以後ニ產出セル種牛及乳牛

三、物品ノ種類、性質、容積等ニ依リ出品ニ適セスト認ムルモノ

四、他ニ損害ヲ及ホシ又ハ公衆ニ嫌忌ノ感ヲ與ヘ若ハ危險ノ虞アリト認ムルモノ

五、風俗又ハ秩序ヲ紊リ若ハ衛生ニ害アリト認ムルモノ

第十六條 家畜ハ搬入ノ際健康診斷ヲ行ヒ疾病ノ虞アルモノハ其ノ出陳ヲ拒絕ス

畜牛結核病豫防法ニ依リ検査ヲ受クヘキ畜牛ハ出陳前一ケ年以内ニ検査ヲ受ケ其ノ健康證ヲ有スルモノニ限ル

第十七條 參考品ハ出品人ノ所在、職業、採取、產出、加工、製作、製造又ハ其ノ土地若ハ時代ノ新古ニ拘ラス出品スルコトヲ得

第十八條 出品ヲ爲サムトスル者ハ第一號様式ノ出品申込書一通ヲ作製シ郡市役所ヲ經テ大正八年十月末日迄ニ本會ニ差出スヘシ

參考品ノ出品ハ前項ノ期間内ニ申込書ヲ本會ニ差出スヘシ

第十九條 本會ニ於テ出品ヲ承認セサル片ハ出品申込締切ノ月ヨリ二ケ月以内ニ其ノ旨通知スヘシ

第二十條 左ニ掲クル施設又ハ出品ヲ爲サムトスル者ハ大正八年九月末日迄ニ申込書ニ設計書ヲ添ヘ本會ニ差出シ許可ヲ受クヘシ

- 一、鉅重物品ニシテ特ニ基礎工事ヲ要スルモノ
- 二、運轉ニ動力ヲ要スル機械

動力ヲ要スルモノハ所要馬力數ヲ設計書ニ附記スヘシ

第二十一條 出品機械ノ運轉ニ要スル動力ハ無料ニテ之ヲ供給ス但シ其ノ數量又ハ使用時間ハ之ヲ制限スルコトアルヘシ

前項ニ依リ動力ノ供給ヲ受クルトキ及原軸ニ依リ動力ノ傳導ヲ受クルトキハ之ニ要スル支軸、滑車、調帶、電線等ノ設備費ハ出品人ノ負擔トス

出品機械ノ運轉チナス場合ハ危害豫防ノ設備ヲ爲シ且ツ經驗アル者ヲシテ管理セシムヘシ此ノ場合ニ於ケル費用ハ出品人ノ負擔トス出品中機械ノ運轉等ニヨリ得タル製品ハ本會ノ承認ヲ得テ即賣スルコトヲ得

第二十二條 本則第六條第二號第三號ノ場合ニ於テハ本會ノ許可ヲ受クヘシ前項ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ大正八年九月末日迄ニ出品ノ部類品名及建坪陳列ノ事等ヲ記載シタル願書ニ設計書、仕様書及圖面ヲ添ヘ差出スヘシ本會ニ於テ必要ト認ムルトキハ其ノ設計ヲ變更セシムルコトアルヘシ此ノ場合ニ要スル費用モ亦自辨トス

自費陳列場ニハ本會ノ指定スル設備ヲ爲スヘシ

第二十三條 出品物ハ別ニ定ムルモノノ外大正九年二月一日ヨリ二月末日迄ノ間ニ郡市役所ヲ經テ本會事務所ニ送付スヘシ

但シ動植物其ノ他腐敗シ易キモノニ對スル出品期日ハ別ニ之ヲ定ム

農會 産業組合、企業組合、畜産組合、其他團體ヨリノ出品申込書、出品目錄解説書及出品物ハ

直接本會ニ送付スルコトヲ得

官公署及他府縣ノ出品ニ關スル書類及出品物ハ直接本會ニ送付スヘシ

第二十四條 前條ノ期限內ニ現品ノ提出ヲ了セサルトキ又ハ之ヲ了スルコト能ハサルモノト認ムル  
トキハ出品ノ承認ヲ取消スコトアルヘシ

第二十五條 出品人ハ第二號様式又ハ第三號様式ノ出品目錄及解説書各二通ヲ作成シ大正九年一月  
末日迄前條ニ準シ本會事務所ニ差出スヘシ

第二十六條 出品物ハ本會ニ於テ命令又ハ承認シタル場合ノ外會期中之ヲ取換、撤去又ハ搬出スル  
コトヲ得ス

第二十七條 出品物ニシテ腐敗、融解等ノ爲陳列ニ適セスト認ムルトキハ之ヲ取換又ハ撤去ヲ命ジ  
若ハ本會ニ於テ之ヲ撤去スルコトアルヘシ

第二十八條 出品物ノ賣約ハ本會ニ於テ之ヲ行ヒ賣却代金ハ閉會後送金ニ要スル費用ヲ控除シ之ヲ  
出品人ニ交付ス

賣約ヲナシタル出品物ニハ賣約済ノ札ヲ添付シテ會期中陳列シ閉會ノ翌日ヨリ三日以内ニ賣約証  
引換ニテ買受人ニ之ヲ交付ス

第二十九條 賣約済ニアラサル出品物ハ閉會後十日以内ニ之ヲ搬出スヘシ陳列裝飾其他特ニ設備シ  
タル工作物ハ全期間内ニ復舊スヘシ

第三十條 本會ニ對シ出品物返還ノ委任アリタルトキハ其ノ荷造ヲ行ヒ之ヲ返送ス  
此ノ場合ニ於ケル荷造費及運賃ハ出品人ノ負担トス

### 第三章 審査及褒賞

第三十一條 官公署縣立學校等ノ出品物及參考品ヲ除クノ外總テ之ヲ審査ス

審査上必要アルトキハ出品人ヲシテ更ニ出品物ト全一ノ物品ヲ提出セシムルコトアルヘシ

審査ハ大正九年四月十一日ニ始メ四月二十日ニ終ルモノトス

第三十二條 審査員ハ審査上必要アルトキハ出品物ノ採取、產出、加工、製作及製造ノ場所ニ臨檢

スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於テ出品人ハ之ヲ拒ムコトヲ得

第三十三條 審査ノ成績優良ナルモノハ其ノ出品人ニ對シ左ノ褒賞ヲ授與ス

賞名譽 金牌

出品一等 金牌

二等 銀牌

第三十四條 銅牌

四等 褒狀

同一出品人ニ對シテ二個以上ノ褒賞ヲ受タルモノアルトキハ賞牌ハ最高ノモノ一個ヲ授與シ其ノ他

ニ對シテハ賞狀ノミヲ授與ス

虛偽又ハ錯誤ニ依リ褒賞ヲ受ケタルコトヲ發見シタル時ハ之ヲ取消スヘシ

第三十四條 審査ノ爲出品物ノ消耗又ハ毀損スルコトアルモ出品人ハ損害賠償ヲ請求スルコトヲ得

又審査用トシテ提出セシメタル物品ニ付亦同シ

第三十五條 出品人ハ審査ヲ拒ミ又ハ審査ノ決定ニ對シ異議ノ申立ヲナシ若ハ授與ノ褒賞ヲ辭スル

コトヲ得ス

第三十六條 有益ナル參考品ヲ出品シ又ハ特ニ優良ナル陳列裝飾ヲナシタル者ニ對シ感謝狀ヲ贈呈

第三十七條 觀覽時間ハ毎日午前八時ヨリ午後五時迄トス

但シ本會ノ都合ニ依リ之ヲ伸縮シ若ハ觀覽ヲ停止スルコトアルヘシ

場合ニ依リ其ノ場所ヲ指定シ午後十時迄夜間開場ヲナスコトアルヘシ

第三十八條 觀覽人ハ觀覽券ヲ携帯スヘシ醉狂、瘋癲、白痴、惡疫又ハ公衆ニ嫌忌ノ感ヲ起サシメ  
若ハ他ニ妨害ヲ與フル虞アリト認ムル者ハ觀覽ヲ拒絶シ又ハ退場ヲ命スルコトアルヘシ

第三十九條 觀覽人ハ左ノ各號ヲ遵守スヘシ

一、畜類ヲ牽キ又ハ荷物及危險ノ虞アル物品ヲ携帯ス一カラス但シ小形ノ携帯品ニシテ守衛ノ承

認ヲ經タルモノハ此ノ限ニ在ラス

二、主管委員又ハ看守人ノ承諾ヲ經ルニアラサレハ陳列品ニ手ヲ觸ルルコトヲ得ス

三、陳列館内ニ於テ喫煙シ又ハ略談スヘカラス觀覽人ノ携帯品ハ主管委員ニ於テ檢閲スルコトアルヘシ

## 第五章 庶務

第四十條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

會長 一名

事務總長 一名

參與 若干名

事務委員長 一名

審査長 一名

審査部長 若干名

審査員

若干名

事務委員

若干名

地方委員長

八名

地方委員

若干名

書記

若干名

第四十一條

會長ハ本縣知事、事務總長ハ本縣內務部長、事務委員長ハ本縣勸業課長ヲ以テ之ニ充

第四十二條

審査部長ハ農商務省ヨリ派遣シ請ヒ審査部長、審査員ハ場合ニ依リ農商務省其ノ他ノ官

第四十三條

會長ハ會務ヲ統括ス

第四十四條

事務總長ハ會長ノ指揮ヲ受ケ事務ヲ掌理シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第四十五條

事務委員長ハ會長及事務總長ノ指揮ヲ受ケ庶務ヲ掌理シ事務總長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第四十六條

審査部長ハ審査ニ關スル諸規程ヲ定メ審査事務ヲ統括ス

審査部長

審査員ハ審査長及審査部長ノ指揮ヲ受ケ出品物ノ審査事務ヲ分掌ス

第四十七條 事務委員及地方委員ハ會長以下ノ指揮ヲ受ケ分掌ノ事務ヲ掌理シ書記ハ上司ノ指揮ヲ

受ケ其ノ事務ニ從事ス

事務分掌ハ會長之ヲ定ム

第四十八條 事務委員長ハ雇、守衛其ノ他ノ僱員ヲ命免ス

第四十九條 會長ハ必要ニ應シ顧問其他第四十條以外ノ職員ヲ設ケ之ヲ顧問スルコトヲ得

### 第六章 附 則

第五十條 左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ本會ノ許諾ヲ受ケヘシ

一、會場内ニ於テ休憩所、賣店、飲食店、觀覽物、遊戯場其ノ他ノ營業ヲ爲サムトスル者

二、會場内ニ貼紙、引札、撒紙等ノ方法ヲ以テ廣告ヲ爲サムトスル者

三、出品物ヲ撰寫攝影セムトスル者

第五十一條 出品物其ノ他ノ施設物ニ對シ損害ヲ加ヘタル者ハ相當ノ賠償ヲサセム

出品人又ハ其ノ代務者カ出品物竝ニ本會ニ附屬スル備品及建造物ヲ毀損シタルトキハ出品人ナシ

テ相當ノ賠償ヲ爲サシメ又ハ其ノ修繕ヲ命ス

出品人又ハ場内營業者ノ使用人ノ行爲ハ出品人又ハ場内營業者其ノ責ニ任スヘシ

### 第一號様式

#### 出品申込書

| 類別 | 品名 | 數量 | 產地 | 容積 | 備考 |
|----|----|----|----|----|----|
|    |    |    |    |    |    |



| 効<br>用                                     | 創<br>業<br>年<br>月 | 採取、產出、加工、製造、培養、飼育ノ方法及其ノ季節 | 出品物ノ特色審査請求ノ主眼点(朱書ノコト) | 解<br>説<br>書 |  |  |  |
|--------------------------------------------|------------------|---------------------------|-----------------------|-------------|--|--|--|
|                                            |                  |                           |                       |             |  |  |  |
| 價額及販路<br>輸出品ナルト<br>キハ輸出高及<br>輸出先ヲ記載<br>スヘシ | 原料及其ノ產地<br>從業者人員 |                           |                       |             |  |  |  |
|                                            |                  |                           |                       |             |  |  |  |

[illegible]

| 解<br>說<br>書                          |  |             |  |  |  |  |  |
|--------------------------------------|--|-------------|--|--|--|--|--|
| 出<br>品<br>物<br>ノ<br>特<br>徴           |  |             |  |  |  |  |  |
| 血統<br><small>父何種何號<br/>母何種何號</small> |  | 高<br>+      |  |  |  |  |  |
| 育<br>成<br>地                          |  | 現<br>養<br>地 |  |  |  |  |  |

従前ノ主ナル

受賞

出品人ノ畜産

ニ關スル經歷

## ○和歌山縣告示第二一六號

左記ノ通り定置漁業ヲ免許シ免許漁業原簿ニ登錄ス

大正八年七月十一日

和歌山縣知事 池松時和

| 免許年月日    | 免許番號 | 漁業種類及名稱      | 漁場ノ位置                | 漁獲物種類      | 漁業時期           | 漁業存續期間 | 條件又ハ限制 | 漁業權者                       |
|----------|------|--------------|----------------------|------------|----------------|--------|--------|----------------------------|
| 大正八年七月五日 | 一九四四 | 壹網類<br>漁業八角網 | 和歌山縣海草郡鯉大崎村大字大崎アヲサ地先 | 鯉太刀魚<br>雜魚 | 自一月一日起至十二月三十一日 | 貳拾箇年   |        | 海草郡大崎村大字大崎三百十八番地<br>大崎漁業組合 |

## ○和歌山縣告示第二一七號

左記紛議免狀紛失ノ旨届出タリ

大正八年七月十一日

| 番 號    | 種 類      | 紛失月日 | 紛失場所 | 住 所                 | 氏 名     |
|--------|----------|------|------|---------------------|---------|
| 田第四二八號 | 乙種<br>三等 | 不明   | 不明   | 西牟婁郡三川村大<br>字深谷四四番地 | 寺 本 廣 藏 |

○和歌山縣告示第二一八號

左記ノ者頭書ノ番號ヲ以テ本日、和歌山縣產婆名簿ニ登錄ス

大正八年七月十一日

| 番 號     | 住 所 身 分                  | 和歌山縣知事    | 池 松 時 和 | 氏 名 | 生 年 月    |
|---------|--------------------------|-----------|---------|-----|----------|
| 第一、〇三六號 | 海草郡巽村大字阪井九百五十一番地<br>ノ五平民 | 中 谷 ヨ シ エ |         |     | 明治二十七年五月 |

○和歌山縣告示第二一九號

土地收用法第九條ニ依リ左ノ通立入り測量ヲ爲スコトヲ許可セリ

大正八年七月十一日

和歌山縣知事 池 松 時 和

一、起業者

紀和索道株式會社

一、事業ノ種類

索道架設事業準備

一、立入ルヘキ土地ノ區域

伊都郡橋本町、隅田村、懸野村、河根村、高野村、富貴村、學文路村、

○辭

令

○大正八年七月七日

上垣 寅吉

和歌山縣穀物検査所検査員ヲ命ス  
年手當五拾圓ヲ給ス

和歌山縣穀物検査所検査員  
願ニ依リ職務ヲ免ス

天野 猛男

理事官 五十嵐 吉三

本年七月十九日開會株式會社和歌山縣農工銀行  
定時株主總會へ知事代理トシテ出席ヲ命ス

○大正八年七月八日

和歌山縣土木技手 平松 芳廣  
願ニ依リ職務ヲ免ス

學校衛生主事 手塚 亨二郎  
和歌山縣立盲啞學校醫ヲ命ス

和歌山縣師範學校附屬代用西和佐尋常高等小學  
校醫ヲ命ス

技師 高橋 貞延

市町村立小學校恩給顧問醫ヲ命ス

學校衛生主事 岩橋 宜雄

和歌山縣師範學校醫ヲ命ス

和歌山縣立和歌山中學校醫ヲ命ス

和歌山縣立海草中學校醫ヲ命ス

和歌山縣立和歌山高等女學校醫ヲ命ス

和歌山縣立工業學校醫ヲ命ス

和歌山縣立官啞學校醫ヲ命ス

和歌山縣師範學校附屬代用西和佐尋常高等小學  
校醫ヲ命ス

市町村立小學校恩給顧問醫ヲ命ス

岡本 勝次郎

和歌山縣雇ヲ命ス月俸拾八圓ヲ給ス

第一工區出張所勤務ヲ命ス

任和歌山縣屬給月俸貳拾七圓  
內務部勸業課勤務ヲ命ス

稻垣 耕四郎

○大正八年七月九日

依願解雇

月俸拾五圓ヲ給ス  
御用濟解雇

雇 栗山竹次郎  
同 小池直壽

○町村吏員異動

○大正八年七月一日認可

那賀郡東野上村助役 柳 瀬 米 助

○彙 報

○増俸 本縣技師久保時男ハ六月三十日十級俸ニ  
増俸セリ

○正 誤

六月三十日縣報號外和歌山縣令第三〇號漁業取締規則中左ノ通正誤ス

頁數 行數 正 誤

六 一二 九月三十日 九月三日

七月八日縣報號外縣令第三一號中二頁十一行「  
鞭根ヲ」ハ「鞭根ヲ」ニ頁十行「終リタル」ハ「終  
了シタル」ノ誤縣令第三二號中六頁十五行「漆  
付」ハ「添付」九頁七行「各樹種ニ」ハ「各樹種別  
ニ」ノ誤

新刊

○大正八年七月十一日

○大正八年七月十一日

○大正八年七月十一日

○大正八年七月十一日

○大正八年七月十一日

大正八年七月十一日印刷  
大正八年七月十一日發行  
每冊日大元日金曜日發行

一ヶ月定價  
四十五錢

和歌山縣知事の房

印刷人

和歌山市四番丁壹番地  
和歌山市四番丁壹番地